

## 技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-101:2016

規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第2-101部：電気くん蒸器の個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第二条 第1項	安全原則	電気用品は、通常の使用状態において、人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないよう設計されるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条4	箇条4 一般要求事項（JIS C 9335-1（以下、第1部）の規定による。） 機器は、通常使用時に起こりやすい不注意があっても、人体及び／又は周囲に危害をもたらさないように安全に機能する構造でなければならない。	
第二条 第2項	安全原則	電気用品は、当該電気用品の安全性を確保するために、形状が正しく設計され、組立てが良好で、かつ、動作が円滑であるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条22 箇条23 箇条24 箇条25 箇条26 箇条28	箇条22 構造（第1部の規定による。） 箇条23 内部配線（第1部の規定による。） 箇条24 部品（第1部の規定による。） 箇条25 電源接続及び外部可とうコード（第1部の規定による。） 箇条26 外部導体用端子（第1部の規定による。） 箇条28 ねじ及び接続（第1部の規定による。）	
第三条 第1項	安全機能を有する設計等	電気用品は、前条の原則を踏まえ、危険な状態の発生を防止するとともに、発生時における被害を軽減する安全機能を有するよう設計されるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条19	箇条19 異常運転（第1部の規定による。） 機器は、異常運転又は不注意運転によって、火災の危険、及び安全性又は感電に対する保護に影響を及ぼす機械的損傷を、できるだけ未然に防止できる構造でなければならない。	
第三条 第2項	安全機能を有する設計等	電気用品は、前項の規定による措置のみによってはその安全性の確保が困難であると認められるときは、当該電気用品の安全性を確保するために必要な情報及び使用上の注意	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条7 7.12	第1部の第四条に該当する規定によるほか、次による。 箇条7 表示、及び取扱説明書又は据付説明 7.12 取扱説明書には、次を記載すること。 ー機器には、推奨する揮発媒体だけを用いる。	

## 技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-101:2016

規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-101 部：電気くん蒸器の個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第三条 第2項続き		について、当該電気用品又はこれに付属する取扱説明書等への表示又は記載がされるものとする。			<p>－機器は、活性成分を揮発させるために表面が高温になるので、使用中はこれらの表面に触れないほうがよい。</p> <p>－警告 電源コードに重いものを載せたり、機器に挟まない。</p>	
第四条	供用期間中における安全機能の維持	電気用品は、当該電気用品に通常想定される供用期間中、安全機能が維持される構造であるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 23 23.3	第1部の第四条に該当する規定によるほか、次による。 但し箇条 18（耐久性）は除く。 箇条 23 内部配線 23.3 コンセントに対して回転可能な機器に、可動部品を、構造上許される最大角度まで、時計方向及び反時計方向に規定の回数で回転させ、電気接続部が緩んではならない。	
第五条	使用者及び使用場所を考慮した安全設計	電気用品は、想定される使用者及び使用される場所を考慮し、人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないように設計され、及び必要に応じて適切な表示をされているものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 6 7.12 15.1 22.44	箇条 6 分類（第1部の規定による。） クラス 0 機器は、定格電圧が 150 V 以下の屋内用の機器についてだけ認める。 7.12 補助を必要とする人（子供を含む）が単独で機器を用いることを意図していない旨の記載しなければならない。（第1部の規定による。） 15.1 機器の外郭は、機器分類に従った水に対する保護等級を備えていなければならない。（第1部の規定による。） 22.44 機器は、玩具のような形状及び装飾をもつ外郭を備えてはならない。（第1部の規定による。）	

## 技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-101:2016

規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-101 部：電気くん蒸器の個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第六条	耐熱性等を有する部品及び材料の使用	電気用品には、当該電気用品に通常想定される使用環境に応じた適切な耐熱性、絶縁性等を有する部品及び材料が使用されるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 11  22.21  箇条 24  30.1	箇条 11 温度上昇（第 1 部の規定による。）  モータ巻線、配線及び巻線以外の絶縁物の上限値は、表 3 に規定する値を超えてはならない。  22.21 木材、綿、絹、紙その他これに類する繊維性又は吸湿性がある材料は、含浸を施さない限り絶縁物として用いてはならない。（第 1 部の規定による。）  箇条 24 部品（第 1 部の規定による。）  部品は、合理的に適用できる限り、関連規格に規定する安全性に関する要求事項に適合しなければならない。  30.1 非金属製の外側の部分、接続部を含む充電部を保持する絶縁物、及び付加絶縁又は強化絶縁として用いている熱可塑性絶縁物は、十分な耐熱性をもっていなければならない。（第 1 部の規定による。）	
第七 条 第 1 号	感電に対する保護	電気用品には、使用場所の状況及び電圧に応じ、感電のおそれがないように、次に掲げる措置が講じられるものとする。  一 危険な充電部への人の接触を防ぐとともに、必要に応じて、接近に対しても適切に保護すること。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 8  箇条 22  25.22	箇条 8 充電部への接近に対する保護（第 1 部の規定による。）  箇条 22 構造（第 1 部の規定による。）  充電部が、可触金属部に接触するおそれがない構造でなければならない。  25.22 機器用インレットは、コネクタの挿入及び取外しの間、充電部に触れないような構造でなければならない。（第 1 部の規定による。）	

## 技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-101:2016

規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-101 部：電気くん蒸器の個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第七條 第1号 続き				箇条 26	箇条 26 外部導体用端子（第1部の規定による。） 端子は、外郭のカバー又は一部を取り外さないと触れることができないものでなければならない。	
第七條 第2号	感電に対する保護	二 接触電流は、人体に影響を及ぼさないように抑制されていること。	■該当 □非該当	箇条 13  箇条 16 22.5  箇条 27	箇条 13 動作温度での漏えい電流及び耐電圧（第1部の規定による。）  箇条 16 漏えい電流及び耐電圧（第1部の規定による。） 22.5 通常使用時に差込プラグのピンに触った場合に、充電されたコンデンサからの感電の危険がない構造でなければならない。（第1部の規定による。）  箇条 27 接地接続の手段（第1部の規定による。） 絶縁不良が生じた場合に充電部になるおそれがあるクラス 0 I 機器及びクラス I 機器の可触金属部は、接地極に確実に接続しなければならない。	
第八條	絶縁性能の保持	電気用品は、通常の使用状態において受けるおそれがある内外からの作用を考慮し、かつ、使用場所の状況に応じ、絶縁性能が保たれるものとする。	■該当 □非該当	箇条 11  箇条 13  箇条 14	箇条 11 温度上昇（第1部の規定による。） モータ巻線、配線及び巻線以外の絶縁物の上限値は、表 3 に規定する値を超えてはならない。  箇条 13 動作温度での漏えい電流及び耐電圧（第1部の規定による。）  箇条 14 過渡過電圧（第1部の規定による。） 機器は、発生する可能性がある過渡過電圧に耐えなければならない。	

## 技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-101:2016

規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-101 部：電気くん蒸器の個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第八条 続き				箇条 16 箇条 17 箇条 19 箇条 29	箇条 16 漏えい電流及び耐電圧（第 1 部の規定による。） 箇条 17 変圧器及びその関連回路の過負荷保護（第 1 部の規定による。） 変圧器から電源の供給を受ける回路をもつ機器は、通常使用時に生じる短絡においても、変圧器の巻線は表 8 に規定する値を超えてはならない。 箇条 19 異常運転（第 1 部の規定による。） 異常運転試験において、絶縁物の温度上昇は表 9 に規定する値を超えてはならない。 箇条 29 空間距離、沿面距離及び固体絶縁（第 1 部の規定による。）	
第九条	火災の危険源からの保護	電気用品には、発火によって人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないように、発火する温度に達しない構造の採用、難燃性の部品及び材料の使用その他の措置が講じられるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 19 19.101	第 1 部の第九条に該当する規定によるほか、次による。 箇条 19 異常運転 19.101 機器に木綿シートをかぶせ、通常動作の下、定格電圧で運転し、木綿シートが、くすぶったり着火したりしてはならない。	
第十条	火傷の防止	電気用品には、通常の使用状態において、人体に危害を及ぼすおそれがある温度とならないこと、発熱部が容易に露出しないこと等の火傷を防止するための設計その他の措置が講じられるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 11 11.8	第 1 部の第十条に該当する規定によるほか、次による。 箇条 11 温度上昇 11.8 コンセントに直接差し込む機器の場合、可触表面の温度上昇は、通常使用時に短時間だけ保持するハンドル、ノブ、グリップ及び同等の部分に対する規定値を超えては	

## 技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-101:2016

規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-101 部：電気くん蒸器の個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第十条 続き				箇条 19 19.13	ならない。 箇条 19 異常運転 19.13 異常試験中、コンセントに直接差し込む機器の可触表面の温度上昇は規定値を超えてはならない。	
第十一 条第 1 項	機械的危険源による危害の防止	電気用品には、それ自体が有する不安定性による転倒、可動部又は鋭利な角への接触等によって人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないように、適切な設計その他の措置が講じられるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	20.1  20.2  22.14  22.15  23.1  25.9	20.1 固定形でなく、かつ、手持形でもない機器で、床上又は卓上で用いる機器は、十分な安定性をもっていなければならない。(第 1 部の規定による。)  20.2 機器の運動部は、通常使用時に人体を傷害から適切に保護するように配置されているか、又は外部で囲ってなければならない。(第 1 部の規定による。)  22.14 機器には、通常使用時又は使用者による保守の際に危険を及ぼすおそれがある凹凸のある角又は鋭い角があってはならない。(第 1 部の規定による。)  22.15 可とうコード用の巻付けフックその他これに類するものは滑らかでなければならない。(第 1 部の規定による。)  23.1 配線路は、滑らかでなければならない。(第 1 部の規定による。)  25.9 電源コードは、機器のとがった部分又はとがった角に接触してはならない。(第 1 部の規定による。)  	

## 技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-101:2016

規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-101 部：電気くん蒸器の個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第十一 条第2項	機械的危険源による危害の防止	2 電気用品には、通常起こり得る外部からの機械的作用によって生じる危険源によって人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないように、必要な強度を持つ設計その他の措置が講じられるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 21 21.101	第 1 部の第十一条第 2 項に該当する規定によるほか、次による。 箇条 21 機械的強度 21.101 機器は、揮散媒体を挿入しない状態で自然落下試験を行い、危険の原因となるおそれの損傷があってはならない。	
第十二 条	化学的危険源による危害又は損傷の防止	電気用品は、当該電気用品に含まれる化学物質が流出し、又は溶出することにより、人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 19 22.22 22.23 22.41 箇条 32	箇条 19 異常運転（第 1 部の規定による。） 異常運転試験において、危険な量の有毒性のガスが機器から漏れてはならない。 22.22 機器は、アスベストを含んではならない。（第 1 部の規定による。） 22.23 機器には、PCB を含んだ油を用いてはならない。（第 1 部の規定による。） 22.41 機器は、ランプを除き、水銀を含む部品を組み込んではならない。（第 1 部の規定による。） 箇条 32 放射線、毒性その他これに類する危険性（第 1 部の規定による。）	箇条 32: 注記 101 揮散素材の毒性は、“医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律”で規制されている。
第十三 条	電気用品から発せられる電磁波による危害の防止	電気用品は、人体に危害を及ぼすおそれのある電磁波が、外部に発生しないように措置されているものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 32	箇条 32 放射線、毒性その他これに類する危険性（第 1 部の規定による。）	

## 技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-101:2016

規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-101 部：電気くん蒸器の個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第十四条	使用方法を考慮した安全設計	電気用品は、当該電気用品に通常想定される無監視状態での運転においても、人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないように設計され、及び必要に応じて適切な表示をされているものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	19.7	19.7 人がついていない状態で運転する機器は、拘束試験において、巻線の温度が表 8 に規定する値を超えてはならない。(第 1 部の規定による。)	
				19.9	19.9 遠隔制御若しくは自動制御によって運転するモータをもつ機器、又は連続運転を行う可能性がある機器には、過負荷運転試験において、巻線の温度が規定の値を超えてはならない。(第 1 部の規定による。)	
				22.40	22.40 遠隔操作の機器には、機器の動作を停止させるためのスイッチを取り付けなければならない。(第 1 部の規定による。)	
				22.49	22.49 遠隔操作の場合、運転持続時間を設定しない限り、機器が始動できないようにしなければならない。(第 1 部の規定による。)	
				22.50	22.50 機器内に組み込んだ制御装置がある場合、それが遠隔操作によって操作される制御装置よりも優先されなければならない。(第 1 部の規定による。)	
				22.51	22.51 機器上には、機器が遠隔操作に調節されていることを示す視覚的表示がなければならない。(第 1 部の規定による。)	
				30.2.3	30.2.3 遠隔操作の機器及び人の注意が行き届かない状態で動作する機器については、非金属材料に燃焼試験を行わ	

## 技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-101:2016

規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-101 部：電気くん蒸器の個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
					なければならない。(第 1 部の規定による。)	
第十五条第 1 項	始動、再始動及び停止による危害の防止	電気用品は、不意な始動によって人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないものとする。	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	—	—	熱源及び可動部（ファン等）が隔離されている、又は、熱源の温度が火傷の危険性がない程度に抑えられているため、不意な始動による危害は一般的に想定しがたく、非該当が妥当と考える。
第十五条第 2 項	始動、再始動及び停止による危害の防止	電気用品は、動作が中断し、又は停止したときは、再始動によって人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 19  20.2  22.10	箇条 19 異常運転（第 1 部の規定による。） 異常運転試験において、機器は、危険な誤動作を起こしてはならない。  20.2 自己復帰形温度過昇防止装置及び過負荷保護装置が何かの拍子に閉状態になった場合に、それが危険を引き起こす引き金となってはならない。(第 1 部の規定による。)  22.10 機器に内蔵する自動開閉装置の動作によって、電圧	

## 技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-101:2016

規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-101 部：電気くん蒸器の個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第十五 条第2項 続き					維持下の非自己復帰形温度過昇防止装置が復帰してはならない。(第1部の規定による。)	
第十五 条第3項	始動、再始動及び停止による危害の防止	電気用品は、不意な動作の停止によって人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないものとする。	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	—	—	不意な停止によって、一般的に、人体に危害を及ぼし又は物件に損傷を与えるおそれがないため、非該当が妥当と考える。
第十六 条	保護協調及び組合せ	電気用品は、当該電気用品を接続する配電系統や組み合わせる他の電気用品を考慮し、異常な電流に対する安全装置が確実に作動するよう安全装置の作動特性を設定するとともに、安全装置が作動するまでの間、回路が異常な電流に耐えることができるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 10  箇条 19  25.8	箇条 10 入力及び電流 (第1部の規定による。) 機器に定格入力 (定格電流) が表示されている場合、通常動作温度における入力 (電流) は、許容値を超える差があってはならない。 箇条 19 異常運転 (第1部の規定による。) 故障状態の下での機器の安全性をヒューズによって確保する場合は、適切なものを選ばなければならない。 25.8 電気用品の技術上の基準を定める省令の解釈の別表第一に適合したコード以外の電源コードの導体は、表 11 に規定する値以上の公称断面積をもつものでなければな	

## 技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-101:2016

規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-101 部：電気くん蒸器の個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
					らない。(第1部の規定による。)	
第十七条	電磁的妨害に対する耐性	電気用品は、電氣的、磁氣的又は電磁的妨害により、安全機能に障害が生じることを防止する構造であるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 19	箇条 19 異常運転 (第1部の規定による。) 電子的スイッチを持つ機器には、イミュニティ試験を実施する。	
第十八条	雑音の強さ	電気用品は、通常の使用状態において、放送受信及び電気通信の機能に障害を及ぼす雑音を発生するおそれがないものとする。	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	—	—	J55014-1 等の別規格で規定されている。
第十九条	表示等 (一般)	電気用品は、安全に必要な情報及び使用上の注意 (家庭用品品質表示法 (昭和三十七年法律第百四号) によるものを除く。) を、見やすい箇所に容易に消えない方法で表示されるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	7.14	7.14 表示は、容易に判読でき、かつ、耐久性があるものでなければならない。(第1部の規定による。)	
第二十条第1項	表示等 (長期使用製品安全表示制度による表示)	次の各号に掲げる製品の表示は、前条の規定によるほか、当該各号に定めるところによる。 一 扇風機及び換気扇 (産業用のもの又は電気乾燥機 (電熱装置を有する浴室用のもの) に限り、毛髪乾燥機を除く。) の機能を兼ねる換気扇を除く。) 機器本体の見やすい箇所に、明瞭に判読でき、かつ、容易に消えない	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	—	—	長期使用製品安全表示制度については、省令で明確に規定されているため、整合規格は不要。

## 技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-101:2016

規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-101 部：電気くん蒸器の個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第二十条第1項 続き		方法で、次に掲げる事項を表示すること。 (イ) 製造年 (ロ) 設計上の標準使用期間（消費生活用製品安全法（昭和四十八年法律第三十一号）第三十二条の三第一項第一号に規定する設計標準使用期間をいう。以下同じ。） (ハ) 設計上の標準使用期間を超えて使用すると、経年劣化による発火、けが等の事故に至るおそれがある旨				
第二十条第2項	表示等（長期使用製品安全表示制度による表示）	二 電気冷房機（産業用のものを除く。）機器本体の見やすい箇所に、明瞭に判読でき、かつ、容易に消えない方法で、次に掲げる事項を表示すること。 (イ) 製造年 (ロ) 設計上の標準使用期間 (ハ) 設計上の標準使用期間を超えて使用すると、経年劣化による発火、けが等の事故に至るおそれがある旨	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	—	—	同上
第二十条第3項	表示等（長期使用製品安全表示制度による表示）	三 電気洗濯機（産業用のもの及び乾燥装置を有するものを除く。）及び電気脱水機（電気洗濯機と一体となっているものに限り、産	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	—	—	同上

## 技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-101:2016

規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-101 部：電気くん蒸器の個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第二十条第3項 続き	示)	業用のものを除く。) 機器本体の見やすい箇所に、明瞭に判読でき、かつ、容易に消えない方法で、次に掲げる事項を表示すること。  (イ) 製造年 (ロ) 設計上の標準使用期間 (ハ) 設計上の標準使用期間を超えて使用すると、経年劣化による発火、けが等の事故に至るおそれがある旨				
第二十条第4項	表示等（長期使用製品安全表示制度による表示）	四 テレビジョン受信機(ブラウン管のもの)に限り、産業用のものを除く。) 機器本体の見やすい箇所に、明瞭に判読でき、かつ、容易に消えない方法で、次に掲げる事項を表示すること。  (イ) 製造年 (ロ) 設計上の標準使用期間 (ハ) 設計上の標準使用期間を超えて使用すると、経年劣化による発火、けが等の事故に至るおそれがある旨	□該当 ■非該当	—	—	同上